

令和5年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業における実施状況及び効果検証
 (通常分、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金分)

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|--------------|-----------------------------------|---|------------|------------------|-------|-------|--|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 8 | 総務部 | 私立学校物価高騰対策事業費 | 新型コロナウイルス感染症等による原油価格・物価高騰の影響による、私立学校の光熱費等のかかり増し経費に対して支援することにより、教育水準の維持向上を図るもの | 30,693 | 30,693 | R5.10 | R5.12 | 私立学校を設置する学校法人に以下のとおり支援した。 ・補助額=3,000円×生徒数 ・対象校：高校(全日制)14、専修学校・各種学校11 | 対象校25校に支援することにより、コロナ禍における教育水準の維持向上を図った。 |
| 9 | 総務部 | 県立米沢女子短期大学運営費交付金(自動水栓化分) | 学内の新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、校舎トイレ手洗所における水道蛇口の自動水栓を整備するもの | 4,070 | 4,070 | R5.10 | R6.2 | トイレ手洗所における水道蛇口について、手をかざし直接触れずに利用できる自動水栓へ入れ替えた。 | 学内の手洗い場(21箇所)を自動水栓化することにより、接触による学内での新型コロナウイルス感染症の感染リスクを下げ、感染拡大防止が図られた。 |
| 10 | 総務部 | 県立米沢女子短期大学運営費交付金(聴覚障がいを持つ学生への支援分) | コロナ禍における聴覚障がいを持つ学生の口話による読み取りに代わる講義の文字起こしを支援するもの | 1,123 | 1,123 | R5.4 | R6.3 | オンライン授業の実施や教員のマスク着用により、聴覚障がいを持つ学生の口話による読み取りが困難になったため、講義の文字起こしを行うことで、当該学生(2人)を支援した。 | 講義の文字起こしを行うことで、コロナ禍における聴覚障がいを持つ学生(2人)の教育環境を確保した。 |
| 11 | 総務部 | 県立米沢女子短期大学運営費交付金(消毒液分) | 対面授業の実施に当たり、「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」に基づくアルコール消毒液の購入を支援するもの | 94 | 94 | R5.4 | R6.3 | 学内の感染拡大防止のため、「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」に基づき、学生(692人)等が使用するアルコール消毒液を購入した。 | 学生(692人)が学内で使用するアルコール消毒液を設置し、手指の消毒を徹底することにより、学内の感染拡大防止が図られた。 |
| 12 | 総務部 | 山形県総合研修センター管理費 | 施設のウィズコロナにおける感染症の感染の予防及び蔓延の防止対策として、トイレ手洗所の水栓を自動水栓にすることにより、施設利用者の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い、安全に研修を実施するもの | 865 | 865 | R5.10 | R6.3 | 施設のウィズコロナにおける感染症の感染の予防及び蔓延の防止対策として、トイレ手洗所の水栓を自動水栓にすることにより、施設利用者の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行った。 | 事業実施により感染症の予防、蔓延防止対策を図りながら、研修生が安心して受講できる環境が確保された。 |
| 13 | 総務部 | 職員健康管理推進事業費 | 人間ドックに係る新型コロナウイルス感染症への対策を実施するもの | 65 | 65 | R5.4 | R5.7 | 人間ドックに係る新型コロナウイルス感染症対策として、人間ドック受診者のPCR検査(9,350円*7名)を実施した。 | 人間ドックに起因した陽性者の発生を防止した。 |
| 14 | 総務部 | 県庁舎管理営繕費 | 和式大便器を洋式化し、ウィズコロナにおける感染症の発生の予防及び蔓延の防止を図り、飛沫飛散による感染を防止するもの | 13,917 | 13,917 | R5.7 | R6.1 | 県庁舎講堂前トイレの和式トイレを洋式トイレに改修を行った。 ・男子トイレの和式トイレ2台を洋式化 ・女子トイレの和式トイレ4台を洋式化 ・トイレブース6台分の改修 | 和式トイレから飛沫拡散防止効果がある蓋付の洋式トイレへ改修することで、感染症対策に寄与した。 |
| 15 | みらい企画 創造部 | 航空ネットワーク拡充事業費 | 航空機燃料の価格高騰等に伴う運航経費の増大等により影響を受けている山形空港及び庄内空港の路線を維持するために、利用の早期回復・拡大を図るもの | 20,000 | 20,000 | R5.8 | R5.7 | 航空機燃料の価格高騰等に伴う運航経費の増大等により影響を受けている山形空港及び庄内空港に就航する航空会社に対して支援を行った。 | 運航経費が増大している航空会社に対して支援を行い、令和4年度を大きく上回る実績となり、今後の利用拡大に寄与した。 <令和5年度利用者数> ・山形空港：345,493人(前年比118.4%/令和元年度比108.3%) ・庄内空港：342,353人(前年比129.4%/令和元年度比81.7%) |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|--------------|------------------------|--|------------|------------------|-------|-------|--|---|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 16 | みらい企画 創造部 | 地域交通総合対策事業費 | 新型コロナウイルス感染症の影響による資金繰りの悪化やドライバー不足、燃料費高騰等の影響を受け、依然として厳しい経営状況に置かれている地域公共交通事業者に対し、運行維持や需要拡大及び運転手確保のための支援を行うことで、地域公共交通の確保を図るもの | 94,372 | 94,372 | R5.7 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格高騰やドライバー不足により厳しい経営状況にある県内の地域公共交通事業者を維持するための支援を行った。 <経費内容>①路線バス事業者の車両維持等に係る経費、②タクシー事業者の車両維持等や需要拡大の取組みに係る経費、③バス・タクシー事業者が負担する従業員の二種免許取得費用 ①路線バス：100千円/台×263台=26,300千円 ②タクシー：50千円/台×1,275台=63,650千円 ③二種免許：4,422千円 (大型16人、中型2人、普通31人 計49人) | コロナ禍での利用者減少や原油価格高騰の影響でバス及びタクシー事業者の経営状況が悪化していたが、支援金の交付が事業の継続、安定運行に寄与するとともに、免許取得費用の補助がドライバーの確保に寄与し、地域公共交通の維持・確保につながった。 (二種免許合格者数は、R4年127人からR5年174人に増加) |
| 17 | みらい企画 創造部 | 外国青年招致事業費 | 新規JET参加者の受入れにあたり、来県前の待機期間の設定や、PCR検査等の実施による新型コロナウイルスの感染防止対策を行うもの | 165 | 165 | R5.8 | R6.3 | 新規JET参加者の来県にあたり、移動時にソーシャルディスタンスを確保するための借上げバスの手配や、本県への案内送迎業務を旅行会社に委託するなどの感染防止対策を行った。 | 新規JET参加者27名の受入れに伴う感染リスクを軽減し、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与した。 |
| 18 | みらい企画 創造部 | 電子県庁推進事業費 | コロナの感染を防止するためのテレワーク環境の整備に伴い、在宅勤務等のコミュニケーションツールとしてチャットツールを導入するもの | 1,584 | 1,584 | R5.10 | R5.12 | テレワークを推進するため、在宅勤務など離れたところにいる職員間の連絡手段や情報共有手段としてチャットツール300アカウント分を職員に配布し、活用した。 | テレワーク時のコミュニケーション手段として活用され、テレワークの推進に寄与した。(利用職員アンケートの結果、76%の職員が「テレワーク時のコミュニケーション手段として有効」と回答) |
| 19 | みらい企画 創造部 | 山形県基幹高速通信ネットワーク運営管理事業費 | コロナ禍でテレワークやリモートでの会議の需要が増加しているが、職員が使用するPCの多くはカメラが付属していないうえに古くスペックが低いため、今後の感染拡大に対応するためテレワークシステムやWEB会議での利用に適したPCに更新するもの | 159,432 | 159,432 | R5.10 | R5.12 | テレワークシステムやWEB会議が円滑に利用できるスペックのパソコンを2,398台の購入し、増加しているテレワークやWEB会議の需要に対応し、感染症予防拡大を図った。 | コロナ禍前に比べ職員間や対外的な会議のリモート会議が約26倍開催された。また、テレワークの新規利用者が約270名増加し、接触の機会が低減し、職員の感染症拡大防止に寄与した。 |
| 20 | みらい企画 創造部 | 行政デジタル化推進事業費 | 新型コロナウイルス感染症などへの感染予防対策として、リモート会議の開催や、会議時の接触を減らすために資料のペーパーレス化を推進するために、ペーパーレス会議システム及びシステムを利用するためのタブレットを導入するもの | 3,367 | 3,367 | R5.10 | R6.3 | ペーパーレス化の推進のため、ペーパーレス会議システムの導入(計300アカウント)及びペーパーレス会議システムを利用するためのタブレット19台を導入した。 | ペーパーレス会議システムを活用により、導入後の令和5年11月～令和6年3月の期間で、①用紙削減効果59,896枚②資料印刷・配布時間削減102.9時間の効果があり、庁内のペーパーレス化に寄与した。 |
| 21 | 防災くらし 安心部 | 防災学習館管理運営費 | 県防災学習館の来館者が利用するトイレを洋式化することで、流水洗浄時のウイルス飛散を防ぐことにより新型コロナウイルスへの感染リスクの低減を図るもの | 2,365 | 2,365 | R5.10 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、県防災学習館の来館者が利用するトイレの洋式化を実施した。 | トイレの洋式化により、流水洗浄時のウイルス飛散を防ぎ、新型コロナウイルスへの感染リスクの低減が図られた。 |
| 22 | 防災くらし 安心部 | 消防学校管理運営費(教育訓練環境整備) | 消防学校の生徒等の新型コロナウイルス感染症防止対策を行うことで、教育訓練計画に定めるカリキュラムを支障なく実施するもの | 3,152 | 3,152 | R5.10 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、トイレの洋式化や手洗い場の非接触型自動水栓化を実施した。 | 令和5年度における学生の感染者は10名で集団感染は発生しなかったため、教育訓練を予定通り実施することができた。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|----------------|------------------------|---|------------|------------------|-------|-------|--|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 23 | 防災くらし 安心部 | 消防防災ヘリコプター管理運営費 | 消防防災航空隊員等の新型コロナウイルス感染症防止対策を行うことで、消防防災業務を支障なく実施するもの | 496 | 496 | R5.4 | R6.3 | 消防防災ヘリコプター運航業務を支障なく実施するため、隊員等の感染症防止対策を実施した ①事務所及びヘリ格納庫における感染防止資材の購入 ②救助活動における感染防止資材の購入 | 消防防災航空隊員等の新型コロナウイルス感染症防止対策を実施し、各消防本部からの消防防災ヘリ緊急運航要請に対して、支障なく対応した。 |
| 24 | 防災くらし 安心部 | 消防学校管理運営費 | 消防学校の生徒等の新型コロナウイルス感染症防止対策を行うことで、教育訓練計画に定めるカリキュラムを支障なく実施するもの | 136 | 136 | R5.4 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、手指及び資機材用消毒液や感染者への対応に備えた感染防止衣等を整備した。 | 令和5年度における学生の感染者は10名で集団感染は発生しなかったため、教育訓練を予定通り実施することができた。 |
| 25 | 防災くらし 安心部 | 山形県新型コロナ対策認証事業費 | 県内外の人々に安心して飲食できる環境を整備する山形県新型コロナ対策認証制度について制度終了まで継続して実施するほか、認証施設及び県民に対し制度終了の周知を行うもの | 815 | 815 | R5.4 | R5.6 | 制度が終了するR5.5.7まで、山形県新型コロナ対策認証制度を継続して実施した。また、制度終了に伴い、認証施設への案内送付、専用ホームページでの周知を行った。 | 制度終了時点で認証施設は4,136施設となり、県内外の方が安心して飲食や宿泊できる環境を整備した。 |
| 26 | しあわせ子 育て応援部 | 母子保健衛生費補助金 | 新型コロナウイルスに不安を抱える妊婦の不安軽減を図るため、PCR検査費用等を補助するもの | 1,944 | 972 | R5.4 | R5.9 | 新型コロナウイルス感染症に不安を抱える妊婦の不安軽減のため、出産前に検査を希望する妊婦(里帰り含む)に対し、PCR検査等費用を助成した。 | 216件分のPCR検査等費用の助成により、新型コロナウイルス感染症に不安を抱える妊婦の不安軽減に寄与した。 |
| 28 | しあわせ子 育て応援部 | 児童養護施設等物価高騰対策事業費 | 原油高騰・物価高騰に伴う児童養護施設等の光熱費等のかかり増し経費に対する補助するもの | 1,500 | 1,500 | R5.7 | R6.2 | 児童養護施設等11施設へ交付金を支給した。 | 事業実施により児童養護施設等の運営における燃料価格高騰に係る影響の緩和に寄与した。 |
| 29 | しあわせ子 育て応援部 | 児童福祉事業対策費等補助金 | 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、児童養護施設等の社会的養護を担う施設の事業継続に係る経費を補助するもの | 1,830 | 915 | R5.4 | R6.3 | 児童養護施設等3施設において空気清浄の整備、感染予防のための衛生用品購入等に係る経費を補助した。 | 事業実施により施設内の衛生管理の向上及び児童の安全な養育の継続等に寄与した。 |
| 30 | しあわせ子 育て応援部 | 児童相談所一時保護所費(中央児童相談所分) | 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、社会的養護の役割を担う一時保護施設(中央児童相談所)の事業継続を支援するもの | 2,143 | 2,143 | R5.10 | R6.3 | 一時保護施設(中央児童相談所)における自動水栓化工事、感染予防のための衛生用品等の備品を整備した。 | 事業実施により施設内の衛生管理の向上及び児童の安全な養育の継続等に寄与した。 |
| 31 | しあわせ子 育て応援部 | ひとり親家庭・子どもの貧困対策総合推進事業費 | 子ども食堂等子どもの居場所の運営支援において、補助単価を増額して支援することにより、県内における子どもの居場所づくりの推進を図るもの | 586 | 586 | R5.7 | R6.3 | こどもの居場所運営支援事業により、子ども食堂等子どもの居場所づくりに取り組む38団体に対し、実施1回当たり補助単価を増額して支援を実施した。(10千円を12千円に増額) | 財政基盤が弱く地域や企業等からの寄附といった善意に支えられているところが大きい子ども食堂等子どもの居場所への支援により、運営の安定化や県内における拡充・定着に寄与した。 |
| 32 | しあわせ子 育て応援部 | 児童相談所一時保護所費(庄内児童相談所分) | 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、社会的養護の役割を担う一時保護施設(庄内児童相談所)の事業継続を支援するもの | 99 | 99 | R5.10 | R5.12 | 一時保護施設(庄内児童相談所)における感染予防のための衛生用品等の備品を整備した。 | 事業実施により施設内の衛生管理の向上及び児童の安全な養育の継続等に寄与した。 |
| 33 | しあわせ子 育て応援部 | 鶴岡乳児院運営費 | 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、社会的養護の役割を担う鶴岡乳児院の事業継続を支援するもの | 91 | 91 | R5.10 | R6.2 | 鶴岡乳児院における感染予防のための衛生用品等の備品を整備した。 | 事業実施により施設内の衛生管理及び児童の安全な養育の継続等に寄与した。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|----------------|----------------------------------|--|------------|------------------|-------|-------|--|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 34 | しあわせ子 育て応援部 | 朝日学園運営費 | 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、社会的養護の役割を担う朝日学園（児童自立支援施設）の事業継続を支援するもの | 31 | 31 | R5.10 | R5.12 | 朝日学園（児童自立支援施設）における感染予防のための衛生用品等の備品を整備した。 | 事業実施により施設内の衛生管理の向上及び児童の安全な養育の継続等に寄与した。 |
| 35 | しあわせ子 育て応援部 | 教育支援体制整備事業費交付金 | 幼稚園における感染症対策を実施するために必要な保健衛生用品の購入及び感染症対策を徹底するために必要なかかり増し経費を補助するもの | 4,869 | 2,435 | R5.4 | R6.3 | 幼稚園22か所における感染症対策を実施するために必要な保健衛生用品の購入及び感染症対策を徹底するために必要なかかり増し経費を補助した。 | 事業実施により感染拡大防止を図りながら事業を実施する環境の整備に寄与した。 |
| 36 | しあわせ子 育て応援部 | 子ども・子育て支援交付金 | 放課後児童クラブに対し、感染症対策を図りながら業務を継続するためのかかり増し経費及び感染症対策のために備品購入等に係る経費を補助するもの | 641 | 641 | R5.4 | R6.3 | 放課後児童クラブ20か所における、感染症対策を図りながら業務を継続するためのかかり増し経費及び感染症対策のための備品購入等に係る経費を補助した。 | 事業実施により感染拡大防止を図りながら事業を実施する環境の整備に寄与した。 |
| 37 | しあわせ子 育て応援部 | 子ども・子育て支援交付金 | 放課後児童クラブにおける感染対策のための簡易な改修等に係る経費を補助するもの | 1,076 | 1,076 | R5.4 | R6.3 | 放課後児童クラブ6か所における、感染症対策のための改修整備を実施する経費を補助した。 | 事業実施により感染拡大防止を図りながら事業を実施する環境の整備に寄与した。 |
| 38 | しあわせ子 育て応援部 | 子ども・子育て支援交付金 | 地域子育て支援拠点施設等における感染症対策を図りながら業務を継続するためのかかり増し経費及び感染症対策のために備品購入等に係る経費を補助するもの | 362 | 362 | R5.4 | R6.3 | 地域子育て支援拠点施設等17か所における、感染症対策を図りながら業務を継続するためのかかり増し経費及び感染症対策のための備品購入等に係る経費を補助した。 | 事業実施により感染拡大防止を図りながら事業を実施する環境の整備に寄与した。 |
| 39 | しあわせ子 育て応援部 | 子ども・子育て支援交付金 | 地域子育て支援拠点施設等における感染対策のための簡易な改修等に係る経費を補助するもの | 1,773 | 1,773 | R5.4 | R6.3 | 地域子育て支援拠点施設等9か所における、感染症対策のための改修整備を実施する経費を補助した。 | 事業実施により感染拡大防止を図りながら事業を実施する環境の整備に寄与した。 |
| 40 | 健康福祉部 | 県立病院事業運営費負担金事業 (PCR自主検査センター分) | コロナ禍における県民・県内企業の不安解消を図るために県立河北病院に設立した「山形県PCR自主検査センター」の運営に係る経費 | 451 | 275 | R5.4 | R5.6 | 県内のPCR検査体制を拡充するため、県立河北病院に設置した山形県PCR自主検査センターの運営に係る経費に対して負担金を交付した。 | コロナ禍において行政検査対象外の県民・県内企業の不安が高まっていたことから、自費による検査のニーズに対応するため、PCR検査や陰性証明書の発行を実施し、不安の解消、感染拡大防止につながった。（27件） |
| 41 | 健康福祉部 | PCR等検査無料化事業 | 新型コロナの感染拡大傾向時に特措法第24条第9項に基づく受検要請に応じて受検した検査費用を無料とするための体制を構築するもの | 19,449 | 1,660 | R5.4 | R5.7 | 感染拡大傾向時において、感染不安を感じる無症状の県民を対象とした無料のPCR等検査を実施した。 | 無料での検査の実施により、感染不安を感じる県民の不安解消が図られ、また、感染者の早期発見につながり感染拡大防止に寄与した。 |
| 42 | 健康福祉部 | PCR自主検査センター運営委託事業 | コロナ禍における県民・県内企業の不安解消を図るために、鶴岡市立荘内病院に山形県PCR自主検査センターを設置し、鶴岡市に対し自主検査センター運営業務を委託するもの | 2,580 | 2,304 | R5.4 | R5.6 | 県内のPCR検査体制を拡充するため、庄内地方の病院に山形県PCR自主検査センターを設置した。 | 山形県PCR自主検査センターを設置し、検査体制を拡充したことにより、必要な検査を実施した。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|------------------------|--|------------|------------------|-------|-------|---|---|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 43 | 健康福祉部 | 医療機関物価高騰対策事業費 | 医療機関は診療報酬制度でサービス価格が定められており、物価高騰によるかかり増し経費を価格転嫁できず、経営に大きな影響を受けていることから、施設規模に応じた物価高騰対策支援を行い、医療提供体制の維持・確保を図るもの | 486,773 | 486,773 | R5.10 | R6.2 | 県内各病院・診療所・助産所に対し、施設規模に応じた支援金を交付した。 | 医療機関等において、光熱費や入院患者に対する食事提供に必要な食材費等が高騰し、経営に影響が生じていたが、公定価格で運営していることから利用者に負担を転嫁することが難しいため、物価高騰に伴う光熱費や食材費等のかかり増し経費に対して支援金を交付することにより、医療提供体制の維持・確保が図られた。 (支援機関数：985) |
| 44 | 健康福祉部 | 高齢者施設等物価高騰対策事業費 | コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けた高齢者施設等に対して、支援金を交付するもの | 202,766 | 202,766 | R5.9 | R6.3 | コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けた高齢者施設等に対して、支援金を交付した。 | 原油価格・物価高騰の影響を受けた高齢者施設等に支援金を交付することにより、安定的なサービス継続に寄与した。 |
| 45 | 健康福祉部 | 障がい者施設等物価高騰対策事業費 | 新型コロナウイルス感染症等の影響による原油価格・物価高騰等に直面している障がい者施設等に対して、支援金を交付するもの | 89,722 | 89,722 | R5.7 | R5.10 | 新型コロナウイルス感染症等の影響による原油価格・物価高騰等に直面している障がい者施設等に対して、支援金を交付した。 | 原油価格・物価高騰で経営業況の苦しい障がい者施設等に支援を行うことで、施設の安定的なサービス継続が図られた。 |
| 46 | 健康福祉部 | 救護施設物価高騰対策事業費 | コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けた救護施設に対して、支援金を交付するもの | 1,275 | 1,275 | R5.7 | R5.9 | コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けた救護施設に対して、支援金を交付した。 | 原油価格及び物価高騰の影響を大きく受けた救護施設に対して支援金を交付することで、救護施設の安定した事業の継続を支援した。 |
| 47 | 健康福祉部 | 保険薬局物価高騰対策事業費 | コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けた保険薬局に対して、支援金を交付するもの | 30,869 | 30,869 | R5.8 | R5.10 | コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けた保険薬局に対して、支援金を交付した。 | 保険薬局において、光熱費や資材費が高騰し、経営に影響が生じていたが、公定価格で運営していることから利用者に負担を転嫁することが難しいため、物価高騰に伴うかかり増し経費に対して支援金を交付することにより、医療提供体制の維持・確保を図った。(支援薬局数：585) |
| 48 | 健康福祉部 | 生活困窮者等食料品等提供活動支援事業 | 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響により困窮している方の生活を支援するため、困窮者への食料品等提供(フードバンク活動)を実施する団体に対して補助するもの | 5,044 | 5,044 | R5.7 | R6.3 | コロナ禍において物価高騰の影響を受けた生活困窮者に食料品等の提供(フードバンク活動)を行う団体に対して、活動に係る経費を助成した。(11団体) | フードバンク活動を行う団体の活動に係る経費を助成することで、フードバンク活動が活性化し、生活困窮者への支援拡大につながった。 |
| 49 | 健康福祉部 | 衛生研究所調査研究・研修費 | 新型コロナウイルス感染症の検査体制を強化するため、県衛生研究所に検査関係機器を整備するもの | 5,159 | 5,159 | R5.11 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染症の検査体制を強化するため、県衛生研究所に検査関係機器を整備した。 | 新型コロナウイルスの検査に使用する遺伝子増幅装置、ゲル撮影装置及び検体の保存に使用する超低温フリーザーを購入した。R5年度は約1,600件の新型コロナウイルスの検査及び約100件のゲノム解析を行った |
| 50 | 健康福祉部 | 公立大学法人山形県立保健医療大学運営費交付金 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、和式トイレを洋式化するもの | 6,985 | 6,985 | R5.12 | R6.1 | 排泄物の飛散を防ぐとともに流水による飛沫を防ぐことで、新型コロナウイルスの感染拡大リスクの軽減を図るため、和式トイレを洋式化した。 | 学内の和式トイレ7台を洋式化したことで、流水による飛沫の防止が図られ、感染症防止に寄与した。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|-------------------------------|--|------------|------------------|-------|-------|---|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 51 | 健康福祉部 | 低所得世帯に対する物価高騰対策臨時特別支援事業費 | コロナ禍において、住民税非課税世帯等の低所得世帯を対象に、市町村が冬期間の灯油購入費等を助成する場合、昨今の原油価格の高騰を踏まえ、臨時的特別支援を実施するもの | 134,138 | 134,138 | R5.10 | R6.3 | 住民税非課税世帯等の低所得世帯を対象に、市町村が冬期間の灯油購入費等を助成する場合、コロナ禍における原油価格の高騰を踏まえ、臨時的特別支援として、1世帯あたり2,500円上限に交付した。(52,939世帯) | 物価高騰等の影響をより強く受ける低所得世帯の生活支援を行うことにより、冬季における当該世帯の負担軽減が図られた。 |
| 52 | 健康福祉部 | 国民健康保険組合健康増進事業 | 生活習慣病等の基礎疾患が新型コロナウイルス感染症重症化のリスクを高めることから、県内国民健康保険組合における生活習慣病の予防対策事業へ補助を行うもの | 500 | 500 | R5.4 | R6.2 | 生活習慣病等の基礎疾患が新型コロナウイルス感染症重症化のリスクを高めることから、県内国保組合における生活習慣病の予防対策事業へ助成を行った。 | 特定健診受診率の目標値を達成した。 (R5目標値：65.0%、実績値68.9%) |
| 53 | 健康福祉部 | 県立社会福祉施設整備事業 | 新型コロナウイルス感染症等の感染対策として、山形県立ふれあいの家における空調設備の更新を行うもの。 | 1,476 | 1,476 | R5.10 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、山形県立ふれあいの家において適切な換気が行えるよう、設置後相当年数が経過し機能が低下した空調設備を更新した。 | 空調設備の更新により、山形県立ふれあいの家において適切な換気の実施等の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が実施され、施設の機能維持、円滑な運営が図られた。 |
| 54 | 健康福祉部 | こども医療療育センター運営費 | 新型コロナウイルス感染症対策として、こども医療療育センターにおける感染拡大防止に係る医療体制を整備するもの | 5,212 | 5,212 | R5.4 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、こども医療療育センターにおいて衛生物品等を整備した。 | こども医療療育センターにおいて、感染拡大防止に係る衛生物品等の整備を行い、感染防止対策に努めた結果、院内での感染が抑制された。 |
| 55 | 健康福祉部 | 県立病院事業運営費負担金事業（医療機器・資機材の整備等分） | 新型コロナウイルス感染症対策として、感染防止対策に必要な診療材料費の購入等に係る県負担金 | 250,234 | 250,234 | R5.4 | R6.3 | 県立病院における新型コロナウイルス感染症対応のために必要な経費（4条予算）の支出に対して負担金を交付した。 | 新型コロナウイルス感染症患者への対応のため、ICUに設置する医療機器や、患者が増えた場合に備え、不足している医療機器を整備した。 |
| 56 | 健康福祉部 | 県立病院事業運営費負担金事業（特殊勤務手当分） | 県立4病院の職員に対して新型コロナ対応にかかる特殊勤務手当を支給するもの | 15,438 | 15,438 | R5.4 | R5.6 | 県立病院における新型コロナウイルス感染症対応を行う職員への防疫作業手当の支給に対して負担金を交付した。 | 新型コロナウイルス感染症患者の救護に従事した医療従事者に対し、防疫作業手当を支給した。 |
| 57 | 健康福祉部 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構費 | 日本海総合病院の職員に対して新型コロナ対応にかかる特殊勤務手当を支給するもの | 3,734 | 3,734 | R5.4 | R5.6 | 日本海総合病院における新型コロナウイルス感染症対応を行う職員への防疫作業手当の支給に対して負担金を交付した。 | 新型コロナウイルス感染症対応を行った延べ1,088件に防疫作業手当を支給することで院内体制整備に寄与した。 |
| 58 | 健康福祉部 | 公立置賜総合病院等整備・運営事業費 | 公立置賜総合病院の職員に対して新型コロナ対応にかかる特殊勤務手当を支給するもの | 13,005 | 13,005 | R5.4 | R5.6 | 公立置賜総合病院における新型コロナウイルス感染症対応を行う職員への防疫作業手当の支給に対して負担金を交付した。 | 新型コロナウイルス感染症対応を行った延べ3,290件に防疫作業手当を支給することで院内体制整備に寄与した。 |
| 59 | 産業労働部 | 中小企業特別高圧電力負担軽減事業費 | 政府が実施している「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の対象となっていない、特別高圧で受電している県内中小企業等に対し、消費した電力量に応じ補助金を交付するもの | 133,776 | 133,776 | R5.8 | R5.12 | 県内24事業者に対し、計133,766千円の補助金を交付した。 | 電気料金の高騰により影響を受ける県内中小企業等の負担を軽減し、事業の継続と経営基盤の強化に寄与した。 |
| 60 | 産業労働部 | LPガス等物価高騰対策・地域経済活性化支援事業費 | 新型コロナに加え、LPガスをはじめとする光熱費・食料品等の価格高騰の影響を受けている地域経済の回復を図るため、市町村が実施する消費喚起・需要拡大に資する取組みを支援するもの | 1,584,263 | 1,584,263 | R5.7 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、落ち込んだ地域経済の回復を図るため、県内35市町村が行う地域消費喚起事業におけるプレミアム商品券のプレミアム原資等に対し、間接補助により支援を行った。 | 県内全35市町村で消費喚起事業が実施され、直接経済効果が約102億円となるなど、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた小売店等の売上拡大につながった。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|-------------------------|---|------------|------------------|-------|------|--|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 61 | 産業労働部 | 県産工芸品緊急海外販路開拓支援事業費 | 新型コロナの影響やエネルギー・原材料価格の上昇により収益が悪化している県内工芸品事業者の事業再構築のため、欧州及びアジアの消費者を対象とした県産工芸品のテストマーケティングを実施することで海外展開を支援し、県内事業者の収益力改善を図るもの | 18,458 | 18,458 | R5.7 | R6.3 | 新型コロナの影響やエネルギー・原材料価格の上昇により収益が悪化している県内工芸品事業者の海外販路開拓を支援するため、フランス・台湾・香港の消費者を対象とした県産工芸品のテストマーケティングを実施した。 | 延べ49社（フランス18社、台湾11社、香港20社）の県内工芸品事業者が参加した。テストマーケティングの結果を各事業者へフィードバックし、マーケットインの視点での商品開発・改良等を促し、今後の海外販路開拓・取引拡大につなげた。 |
| 62 | 産業労働部 | 計量検定事業費 | 山形県旧計量検定所棟において、ウィズコロナにおける感染症の発生予防及び蔓延防止を図るため、執務室におけるエアコンの更新及びトイレの自動水栓化並びに洋式化工事を行うもの | 4,378 | 4,378 | R5.12 | R6.2 | 山形県旧計量検定所棟において、ウィズコロナにおける感染症の発生予防及び蔓延防止を図るため、以下の工事を実施した。 ・エアコンの更新工事（執務室内） ・非接触型自動水栓の設置及び洋式化工事 | 山形県旧計量検定所棟にて常時勤務する8名の職員の感染症罹患による休職日数を比較した。その結果、施工後の令和6年は前年比で半減していたことから、当該工事は感染対策に大いに効果があったと認められる。 ・令和5年（暦年）：感染症罹患患者 延べ8名（休職日数合計 40日） ・令和6年（〃）：感染症罹患患者 延べ4名（休職日数合計 20日） |
| 63 | 産業労働部 | 中小企業パワーアップ補助事業（DX支援型） | コロナウイルス感染症の影響やエネルギー価格や物価の高騰に直面する中小企業・小規模事業者が実施するDXの推進による生産性向上や業務効率化の取組みを支援するもの | 19,760 | 19,760 | R5.10 | R6.3 | コロナウイルス感染症の影響やエネルギー価格や物価の高騰に直面する中小企業・小規模事業者が実施するDXの推進による生産性向上や業務効率化の取組みに対し、商工団体を通じた間接補助により支援を行った。 ・支援事業者数：19者 ・支援総額：19,400,000円 ・事務委託費：360,225円 | コロナウイルス感染症の影響やエネルギー価格や物価の高騰に直面する中小企業・小規模事業者が実施するDXの推進による生産性向上や業務効率化の取組みに対し、商工団体を通して支援を行った。（支援件数：19件） 中小企業・小規模事業者において、省力化や生産性の向上による経営改善が図られた。 |
| 64 | 産業労働部 | 中小企業パワーアップ補助事業（GX支援型） | コロナウイルス感染症の影響やエネルギー価格や物価の高騰に直面する中小企業・小規模事業者が実施するGXの推進による省エネ等の取組みを支援するもの | 28,467 | 28,467 | R5.10 | R6.3 | コロナウイルス感染症の影響やエネルギー価格や物価の高騰に直面する中小企業・小規模事業者が実施するGXの推進による省エネ等の取組みに対し、商工団体を通じた間接補助により支援を行った。 ・支援事業者数：29者 ・支援総額：27,948,000円 ・事務委託費：518,946円 | コロナウイルス感染症の影響やエネルギー価格や物価の高騰に直面する中小企業・小規模事業者が実施するGXの推進による省エネ等の取組みに対し、商工団体を通して支援を行った。（支援件数：29件） 中小企業・小規模事業者において、省エネ効果によるエネルギー使用量の削減が進み、経営改善が図られた。 |
| 65 | 産業労働部 | 産業科学館管理運営費（空調設備修繕事業費） | 施設内の空調設備のうち、風量をコントロールする電動二方弁を更新することで、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図ることによる運営の効率化、施設利用割合を向上させるもの | 5,128 | 5,128 | R6.1 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るため、山形県産業科学館の空調設備に係る電動二方弁38台を更新した。 | 施設内の快適な室内空気環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、熱中症を避けつつ、感染対策と施設運営の両立につながった。 |
| 66 | 産業労働部 | 産業科学館管理運営費（トイレ洋式化工事事業費） | 山形県産業科学館における新型コロナウイルス感染対策の徹底を図るため、洋式トイレの整備を実施するもの | 8,690 | 8,690 | R6.1 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るため、山形県産業科学館に洋式トイレ4基を設置した。 | 施設内の衛生的なトイレ環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、感染対策と施設運営の両立につながった。 |
| 67 | 産業労働部 | 産業科学館管理運営費（音響設備更新事業費） | 施設内のイベントスペースにおける音響設備を更新することで、参加者が密になることを避けて新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るもの | 1,199 | 1,199 | R6.1 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るため、山形県産業科学館2階の音響設備一式を設置した。 | イベント参加者のソーシャルディスタンスの確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、感染対策と施設運営の両立につながった。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|--------------------------------|--|------------|------------------|-------|------|---|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 68 | 産業労働部 | 工業技術センター運営費（排泄施設更新事業） | 山形県工業技術センターにおける新型コロナウイルス感染対策の徹底を図るため、洋式トイレ及び自動水栓の整備を実施するもの | 4,195 | 4,195 | R5.10 | R6.1 | 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るため、山形県工業技術センターに洋式トイレ4基及び自動水栓3基を設置した。 | 施設内の衛生的なトイレ環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、感染対策と施設運営の両立につながった。 |
| 69 | 産業労働部 | 工業技術センター運営費（空調設備修繕事業） | R6.3までに空調設備を修繕し、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図ることによる運営の効率化、施設利用割合を向上させるもの | 930 | 930 | R5.7 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るため、山形県工業技術センターのファンコイル1基を設置した。 | 施設内の快適な室内空気環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、熱中症を避けつつ、感染対策と施設運営の両立につながった。 |
| 70 | 産業労働部 | 工業技術センター運営費（空調設備更新事業） | R6.3までに事務室、研究室のエアコンを更新し、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図ることによる運営の効率化、施設利用割合を向上させるもの | 4,455 | 4,455 | R6.1 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るため、山形県工業技術センター庄内試験場のエアコン5台を設置した。 | 施設内の快適な室内空気環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、熱中症を避けつつ、感染対策と施設運営の両立につながった。 |
| 71 | 産業労働部 | 産業技術短期大学校管理運営事業費（山形校トイレ分） | 産業技術短期大学校における新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、洋式トイレの整備を実施するもの | 2,310 | 2,310 | R5.11 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、山形県立産業技術短期大学校に洋式トイレ（6箇所）を設置した。 | 施設内の衛生的なトイレ環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立につながった。 |
| 72 | 産業労働部 | 産業技術短期大学校管理運営事業費（山形校自動水栓分） | 産業技術短期大学校における新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、自動水栓を整備するもの | 2,618 | 2,618 | R5.12 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、山形県立産業技術短期に自動水栓（34個）を設置した。 | 施設内の衛生的な手指洗浄環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立につながった。 |
| 73 | 産業労働部 | 産業技術短期大学校管理運営事業費（山形校エアコン分） | 産業技術短期大学校FA棟ゼミ室における新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、冷房設備を整備するもの | 902 | 902 | R5.11 | R6.1 | 新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、山形県立産業技術短期大学校のFA棟ゼミ室に天井カセット型エアコン（1台）を設置した。 | 施設内の快適な室内空気環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、熱中症を避けつつ、新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立につながった。 |
| 74 | 産業労働部 | 産業技術短期大学校管理運営事業費（庄内校自動水栓分） | 産業技術短期大学校庄内校における新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、自動水栓を整備するもの | 2,409 | 2,409 | R6.1 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、山形県立産業技術短期庄内校に自動水栓（42個）を設置した。 | 施設内の衛生的な手指洗浄環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立につながった。 |
| 75 | 産業労働部 | 職業能力開発校管理運営費（庄内センタートイレ分） | 庄内職業能力開発センターにおける新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、洋式トイレの整備を実施するもの | 2,200 | 2,200 | R5.12 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、山形県立産業技術短期大学校庄内校に洋式トイレ（4箇所）を設置した。 | 施設内の衛生的なトイレ環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立につながった。 |
| 76 | 産業労働部 | 職業能力開発校管理運営費（庄内センター自動水栓分） | 庄内職業能力開発センターにおける新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、自動水栓の整備を実施するもの | 199 | 199 | R6.1 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立を図るため、山形県立庄内職業能力開発センターに自動水栓（4個）を設置した。 | 施設内の衛生的な手指洗浄環境の確保により、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止に寄与し、新型コロナウイルス感染対策と職業訓練の両立につながった。 |
| 77 | 観光文化スポーツ部 | 乗って満喫！やまがたバス旅促進事業費（新たなバス旅支援事業） | 新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響を受けた県内の各観光地・施設における観光消費の拡大・地域経済の活性化を図るため、交通事業者の運行する貸切バス・貸切タクシーを活用した多様な旅行商品の造成を促進するもの | 103,736 | 103,736 | R5.7 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響を受けた県内の各観光地・施設における観光消費の拡大・地域経済の活性化を図るため、交通事業者の運行する貸切バス・貸切タクシーを活用した多様な旅行商品の造成促進を支援した。 | 助成実績は12,300人分であり、県内の各観光地・施設における観光消費の拡大・地域経済の活性化が図られた。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|---|--|------------|------------------|--------|-------|---|---|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 78 | 観光文化スポーツ部 | 乗って満喫！やまがたバス旅促進事業費（仙台空港から山形県へのインバウンド誘客事業） | コロナ前には運行されていた仙台空港から山形県への直行バスが、コロナ禍による人流の減少、燃料費高騰の影響により運休するに至ったことから、直行バスを運行するバス事業者を支援し、バス利用の拡大及び仙台空港から山形県への観光誘客の拡大を図るもの | 53,980 | 53,980 | R5.11 | R6.3 | 仙台空港から山形県へ直行バスを運行するバス事業者を支援するとともに、仙台空港への国際線が運航している、台湾、韓国、中国において、各航空会社のHP等のWeb媒体を活用したプロモーションやSNS等を活用し情報発信した。 | 仙台空港からの直行バスを運行する事業者を支援。運行した事業者においても県民向けの広告を展開した。 また、海外での広告展開として旅行会社訪問や旅行博出展等によるプロモーションやインフルエンサー招請、航空会社や旅行会社のHPでの情報発信を実施した。 この結果、本県や本県観光地の認知度が向上し、旅行機運が高まったことで直行バスの乗車数が増加し、交通事業者の経営改善に繋がった。 |
| 79 | 観光文化スポーツ部 | 国際チャーター便等による観光交流拡大事業費 | 新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響を受けた県内旅行会社の事業継続を支援する観点から、海外の旅行会社と相互利用するチャーター便のフェリー便の活用を希望する県内旅行会社に対して燃料高騰分を支援し、県内空港への国際チャーター便の就航及び県内と海外との観光交流拡大を図るもの | 9,677 | 9,677 | R5.8 | R6.2 | 海外の旅行会社と相互利用するチャーター便や海外定期チャーター便のフェリー便の活用した商品造成を実施した旅行会社を支援するとともに、県民のアウトバウンド促進に向けたパスポート取得を支援した。 | チャーター便の就航、フェリー便を活用した商品造成に対する支援を行った。 また、国際定期便の安定就航によるインバウンド拡大に資するため、県民の海外旅行を促すパスポート取得支援を行った。 この結果、国際交流の拡大に資するとともに、航空会社の機材の活用、定期便の搭乗率向上に繋がり、航空会社や企画した県内旅行会社の経営改善に寄与した。 (チャーター便就航数：6便) (本事業による国際交流人数：2,079人) |
| 80 | 観光文化スポーツ部 | 海外インターンシップ宿泊施設受入促進事業費 | 新型コロナウイルス感染症の影響による従業員の離職や物価高騰に伴う経費の増大等により、宿泊施設における人材確保が課題となっていることを踏まえ、県内宿泊施設への海外からのインターンシップの受入れを促進し、ひいては、県内宿泊施設への就職に結び付けていくため、県内宿泊事業者などの観光関係者ととも海外でのプロモーションを実施するもの | 1,242 | 1,242 | R5.10 | R5.11 | 新型コロナウイルス感染症の影響による県内宿泊施設の人材不足を踏まえ、県内宿泊施設への海外からのインターンシップ受入れを促進するために、県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携し、県内旅館・ホテル事業者9者ととも、台湾の14校の大学関係者へプロモーションを実施した。 | 台湾の14校の大学へのプロモーション・交流を通し、インターンシップ実現へ向けた県内旅館・ホテル事業者との具体的な交渉の創出がなされた。 |
| 81 | 観光文化スポーツ部 | 中小事業パワーアップ補助事業費 | 新型コロナウイルス感染症の影響や原油価格・物価高騰に直面する県内観光事業者の事業継続を支援する観点から、県内観光事業者が行うDXの推進や高付加価値化に向けた取組みに対し、助成金を交付するもの | 0 | 0 | R5.10 | R6.3 | | |
| 82 | 観光文化スポーツ部 | 文化芸術施設等誘客促進事業費 | コロナ禍に対する物価高騰への対応として、県民等の利用者が県内の伝統芸能や文化芸術に触れる機会の拡大に向けて、団体・施設の利用促進に係る取組みを支援するもの | 3,398 | 3,398 | R5.8.1 | R6.3 | アフターコロナに向けた伝統芸能団体の事業継続を図るため、やまがた舞子及び酒田舞娘による演舞の披露を行う団体に対する支援を行った。 | 演舞披露を行った山形伝統芸能振興株式会社、酒田小鈴合同会社及び株式会社平田牧場の3団体に対して支援を行い、事業継続を後押しした。 |
| 83 | 観光文化スポーツ部 | やまがた観光情報センター運営管理事業費 | 観光情報センターの案内カウンター部分の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を一層推進し、利用者及びセンター職員の双方がより安心しながら施設運営・利用できる環境を整えるもの | 1,254 | 1,254 | R5.10 | R6.3 | 多くの観光客が利用する観光情報センターについて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を一層推進し、利用者及びセンター職員の双方がより安心しながら施設運営・利用できるよう、案内カウンター部分に空調設備を1基増設した。 | 利用者と職員が接触する案内カウンターに空調設備を1基増設し、両者が安心して利用できる環境が整備された。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|-----------------------------|---|------------|------------------|-------|------|---|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 84 | 観光文化スポーツ部 | 県民の海・プール管理運営費 | 県民の海・プールにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策を一層推進し、県民等がより安心して施設利用できる環境を整えるもの | 7,786 | 7,786 | R5.12 | R6.3 | 県民の海・プールにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策を一層推進し、県民等がより安心して施設利用できるよう、感染リスクの高い更衣室の換気用天窓を改修した。 | 感染リスクの高い男女更衣室の換気用天窓を改修し、利用者が安心して利用できる環境が整備された。 |
| 85 | 観光文化スポーツ部 | 観光誘客総合推進事業費（空調設備改修工事） | 山形県国民宿舎竜山荘における新型コロナウイルス感染拡大防止対策を一層推進し、県民等がより安心して施設利用できる環境を整えるもの | 4,488 | 4,488 | R5.12 | R6.3 | 山形県国民宿舎竜山荘における新型コロナウイルス感染拡大防止対策を一層推進し、県民等がより安心して施設利用できる環境を整えるために、国民宿舎竜山荘の空調設備を改修した。 | 国民宿舎内の7か所の空調設備を改修し、県民等が安心して利用できる環境が整備された。 |
| 86 | 観光文化スポーツ部 | 観光誘客総合推進事業費（トイレ改修工事） | 山形県国民宿舎竜山荘の和式トイレを洋式トイレに改修することで、流水洗浄時のウイルス飛散を防ぐことにより新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るもの | 5,221 | 5,221 | R5.12 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るために、国民宿舎の和式トイレを洋式トイレに改修した。 | 国民宿舎内の9か所の和式便器を洋式便器に改修し、感染拡大防止を図られ、県民等が安心して利用できる環境が整備された。 |
| 87 | 観光文化スポーツ部 | 博物館運営費 | 山形県立博物館の和式トイレを洋式トイレに改修することで、流水洗浄時のウイルス飛散を防ぐことにより新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るもの | 4,008 | 4,008 | R5.12 | R6.3 | 山形県立博物館の和式トイレを洋式トイレに改修することで、流水洗浄時のウイルス飛散を防ぐことにより新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図った。 | 山形県立博物館の和式トイレ4基を洋式トイレに改修することにより感染拡大防止が図られた。 |
| 88 | 観光文化スポーツ部 | 観光情報番組放映事業 | 本県の観光の魅力を発信し、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ首都圏からの観光誘客の拡大を図るもの | 31,198 | 31,198 | R5.4 | R6.3 | 本県の観光の魅力を発信し、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ首都圏からの観光誘客の拡大を図ることを目的とし、観光情報番組の作成・放映を行った。 | 観光情報番組の作成・放映を行ったことで、首都圏からの観光誘客の拡大が図られた。 |
| 89 | 観光文化スポーツ部 | 教育旅行推進事業費 | 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ教育旅行入込者数を新型コロナ前の水準に回復を図るもの | 18,073 | 18,073 | R5.4 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ教育旅行入込者数を回復させるため、東北観光推進機構の教育旅行セミナーに合わせて、旅行会社や学校へのセールスを実施した。 | 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により教育旅行入込者数は大幅に減少していたが、旅行会社へのセールス等を行った結果、入込者数が増加した。 令和5年度教育旅行の入込実績 延べ宿泊者数 71,236人（前年度比3,204人増） 学校数 1,809校（前年度比142校増） |
| 90 | 観光文化スポーツ部 | 「さくらんぼ」県やまがた」観光誘客促進事業 | 本県を代表するフルーツ「さくらんぼ」を活用した誘客事業を実施し、新型コロナウイルス感染症による影響で落ち込んだ本県観光者数の回復を図るもの | 8,234 | 8,234 | R5.4 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて観光者数が減少していることを受け、観光誘客ポスターを制作しJR主要駅に掲示したほか、県内貸切バス・タクシーを利用したツアー造成に対する助成を行った。 | 旅行機運が高まり、県内のバス不足によりツアー造成が困難になる現象が生じるなど、県内経済の活性化につながった。 |
| 91 | 観光文化スポーツ部 | 山形県版ふるさと観光検定事業費 | 新型コロナウイルスの感染拡大により深刻な影響を受けた本県の観光関連産業の回復のため、「山形県版ふるさと観光検定」を実施し、観光をはじめとする本県の魅力を多くの方に再認識してもらい、ポストコロナにおける観光需要喚起を図るもの | 6,247 | 6,247 | R5.12 | R6.3 | 新型コロナウイルスの感染拡大により深刻な影響を受けた本県の観光関連産業の回復を目的とし、ポストコロナにおける観光需要喚起を図るものために「山形県版ふるさと観光検定」を実施した。 | 総受検者数が24,637人という実績であり、本県の観光需要喚起が図られた。 |
| 92 | 観光文化スポーツ部 | 観光誘客総合推進事業費（地域活性化誘客対策支援事業費） | 新型コロナウイルスの感染拡大により深刻な影響を受けた本県の観光関連産業の回復のため、「山形花笠まつり」への補助を行うことで県内外からの誘客を図るもの | 2,592 | 2,592 | R5.4 | R6.3 | 新型コロナウイルスの感染拡大により深刻な影響を受けた本県の観光関連産業の回復のため、山形花笠まつり（山形県花笠協議会）への補助を行った。 | 山形花笠まつり（山形県花笠協議会）への補助を行い本県の観光振興を図ることで、県内外からの観光誘客増、地域経済の活性化につながった。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|---------------------------------|--|------------|------------------|------|------|---|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 93 | 観光文化スポーツ部 | 観光誘客総合推進事業費（山形おもてなしドライバー検定事業） | ポストコロナを見据えて多様化する旅行者のニーズに対応するため、タクシー乗務員を対象とした研修・検定を実施することにより、おもてなしの心を持って、観光案内を行うための十分な知識と接客で来訪者を案内できる人材を育成・確保するもの | 1,290 | 1,290 | R5.4 | R6.3 | ポストコロナを見据えて多様化する旅行者のニーズに対応することを目的として、おもてなしの心を持って、観光案内を行うための十分な知識と接客で来訪者を案内できる人材を育成・確保するために、タクシー乗務員を対象とした研修・検定を実施した。 | 本県への来訪者の観光需要の多様化に対応できる観光知識と、すべての観光客が安全・安心、快適に旅行ができるホスピタリティや接客スキルを兼ね備えた人材を育成することで、本県の観光振興に寄与した。 |
| 94 | 観光文化スポーツ部 | 観光誘客総合推進事業費（やまがた観光情報センター機能強化事業） | ポストコロナにおける観光誘客の促進に向け、JR山形駅西口エリアに所在する「山形県観光情報センター」をリニューアルすることで、観光客の増やイベント時の活用等による賑わいの創出を図るもの | 26,585 | 26,585 | R5.4 | R6.3 | 新型コロナウイルスの感染拡大により落ち込んだ観光誘客の回復のため、「山形県観光情報センター」をリニューアルし、県産酒の試飲コーナーの新設など、本県の魅力を体験いただける機能を付加した。 | 県産酒の試飲コーナー等を新設するなど、「山形県観光情報センター」をリニューアルし、令和6年度来館者数が前年度比約1.5倍となるなど（令和6年12月末現在）、観光誘客の回復に大きく寄与した。 |
| 95 | 観光文化スポーツ部 | 観光誘客総合推進事業費（東京都と連携した観光客誘致推進事業） | 新型コロナウイルス感染症の影響によって減少した観光客を回復させるため、東京都と連携した観光振興を推進することで、首都圏から山形県への観光誘客の拡大を図るもの | 10,471 | 10,471 | R5.4 | R6.3 | コロナ禍による交流人口の減少を東京都と連携した観光振興を推進することで首都圏から山形県への観光誘客の拡大を図るため共同キャンペーンを実施した。 ・雑誌への記事掲載、webメディアを活用した情報発信を実施（公益財団法人東京観光財団への負担金） ・東京都と山形県との連携による観光客誘致推進協議会を開催し委員より今後の事業展開に係る助言を受領 | 雑誌「婦人画報」への、東京・山形のそれぞれ呼応する観光スポットの記事掲載（7万部発行）や特設webサイトの他、国内観光客を対象とする「RITRIP」、訪日外国人を対象とする「MATCHA」の両メディアによる情報発信（計24.5万PV）、また、オンライン広告（9,133万回）を実施したこと等により、首都圏から山形県への観光誘客の拡大を図られた。 |
| 96 | 観光文化スポーツ部 | 文化団体等連携支援事業費 | 文化芸術に子どもの頃から触れ親しみ、地域の文化を知り、興味を持ち、実際に体験・参加することにより、地域への愛着と誇りを醸成し、担い手の育成や次世代を担う若者の県内定着・回帰に繋げていくため、新型コロナウイルス感染症による影響を受けて運営に苦しむ文化芸術団体の事業継続に向けた支援を行うもの | 2,299 | 2,299 | R5.4 | R6.3 | 山形交響楽団を活用し県内小学校の児童を対象に行う演奏会事業への支援を行い、多くの子どもたちに質の高い音楽鑑賞の機会を提供し、感性豊かな人づくりを推進した。 | 3日間にわたり開催されたスクールコンサートにおける諸経費を支援し、合計1,886人の小学生に音楽鑑賞機会を提供するとともに、事業継続につなげた。 |
| 97 | 観光文化スポーツ部 | 国際チャーター便受入事業費 | 県内空港への国際チャーター便の就航について、新型コロナの5類移行後においても、空港地上業務に係る人材確保、物価高騰、人件費高騰などの課題を抱える、空港地上業務を担う事業者を支援することで、本県のインバウンド受入態勢を整備するとともに、県内観光業の発展を期するもの | 42,805 | 42,805 | R5.4 | R6.3 | 国際チャーター便によるインバウンドの受入態勢を整備するため空港地上業務を担う事業者に対して支援を実施した。 | 国際チャーター便を空港で受け入れるための空港地上業務を担う事業者に支援を行った。その結果、人員不足等によるチャーター便受入困難な状況を回避するとともに、積極的なチャーター便受入による事業者の収益改善、また、インバウンド増加による県内宿泊施設や立寄施設等観光業をはじめとする事業者の売上向上に繋がった。 |
| 98 | 観光文化スポーツ部 | インバウンド復活に向けた誘客促進事業費 | 政府における訪日外国人観光客の受入再開を受けて、旅行会社による県内宿泊施設や県内バス・タクシーを利用した旅行商品の造成を後押しし、新型コロナウイルス感染症の影響により激減した外国人観光客の回復を図るもの | 64,849 | 64,849 | R5.4 | R6.2 | 県内宿泊施設及び県内バス・タクシー事業者を利用した旅行商品を造成した旅行会社への補助するとともに、県内空港への国際チャーター便を利用したツアーを造成した航空会社への空港着陸料の補助を行った。 | 海外現地旅行博等での本県魅力の発信やインバウンド向け旅行商品の造成支援を行った。この結果、県内宿泊を伴う旅行商品を造成した場合の助成金を設け、県内宿泊施設や、県内バス・タクシー事業者の利用を促し、本助成金により、合計11,833人泊のインバウンド誘客があった。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|--------------------|--|------------|------------------|-------|-------|--|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 99 | 観光文化スポーツ部 | 広域的文化交流事業費 | 山形交響楽団東京演奏会での集客力を活用し、音楽を通じた文化交流の促進を図るとともに、山形の文化と物産の魅力を全国にアピールし、県内への観光客などの関係人口の増加を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響をにより運営が厳しい山形交響楽団の東京公演の支援を行うもの | 1,618 | 1,618 | R5.4 | R5.12 | 山形の文化と物産の素晴らしさを全国にアピールし、国内外からの交流人口の拡大を図るため、山形交響楽団が持つ国内外への情報発信力を活用した事業を展開した。 | 令和5年6月22日に山形交響楽団さくらんぼコンサート東京公演を開催し、コンサート会場に物産スペースを設けたことで、来場者1,389人に対し本県の観光及び物産をPRし、交流人口の増加に寄与した。 |
| 100 | 農林水産部 | 農林漁業災害対策費 | コロナ禍において燃油・生産資材等の価格高騰に直面し農林漁業経営に係る生産費負担が増加している生産者に有利な条件での資金を融通するもの | 192 | 192 | R5.4 | R6.3 | コロナ禍における物価高騰の影響で資金繰りに支障が生じた農林漁業者が運転資金として金融機関から借り入れた「生産資材等高騰緊急対策資金」に対する利子補給を市町村と協調して実施。 〈貸付期間〉R5.4.1～R6.3.31 〈貸付実績〉59名、92,335千円 〈利子補給率〉 ・ R5.4.1～R6.3.31…1.35% (県：0.89775%、市町村：0.45225%) | コロナ禍における物価高騰の影響で厳しい資金繰りとなっている農林漁業者を支援することにより、その経営継続の一助となった。 |
| 101 | 農林水産部 | 農業総合研究センター運営費 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、トイレの洋式化及による感染リスクの低減及び空調設備更新による実験室等の換気環境改善を図るもの | 3,769 | 3,769 | R5.10 | R5.12 | 一般の来所者も使用する本館1階のトイレの洋式化工事を実施した。室内での実験・測定作業時の換気環境改善による感染防止を図るため、空調設備(2台)の入替を行った。 (設置箇所：害虫実験室及び天秤室) | 感染リスクを低減させながら、イベントを実施できた。また複数人が密室で作業する空間の換気環境を向上させることにより職員の感染防止に寄与した。 |
| 102 | 農林水産部 | 農業園芸農業研究所運営費 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、空調設備更新による実験室等の換気環境改善を図るもの | 1,375 | 1,375 | R5.12 | R5.12 | 室内での実験・測定作業時の換気環境改善による感染防止を図るため、空調設備(3台)を更新・設置した。 (設置箇所：昆虫飼育室、ハウス管理室、育種作業舎) | 複数人が密室で作業する空間の換気環境を向上させることにより職員の感染防止に寄与した。 |
| 103 | 農林水産部 | 水田農業研究所運営費 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、トイレの洋式化及による感染リスクの軽減を図るもの | 462 | 462 | R5.11 | R6.1 | 一般の来所者も使用する本館1階のトイレの洋式化工事を実施した。 | 感染リスクを低減させながら、イベントを実施できた。また職員の感染防止に寄与した。 |
| 104 | 農林水産部 | 養豚研究所運営費 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、空調設備更新による実験室等の換気環境改善を図るもの | 286 | 286 | R5.12 | R6.1 | 室内での実験・測定作業時の換気環境改善による感染防止を図るため、空調設備(2台)の入替を行った。 (設置箇所：精液検査室及び現場控室) | 複数人が密室で作業する空間の換気環境を向上させることにより職員の感染防止に寄与した。 |
| 105 | 農林水産部 | 魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業 | 燃油価格の高騰により、経営に打撃を受けている施設園芸農業者を支援するため、省エネルギーが可能となる設備等の整備を支援するもの | 25,321 | 25,321 | R5.10 | R6.3 | 施設園芸を営む農業法人、農業者からなる団体等に対し、省エネルギー設備等(ヒートポンプ、多層カーテン等の被覆資材等)を導入する経費の1/2を補助し、農業者を支援した。 | 10団体(約1,946a、39経営体)が、省エネ効果のある資材等を導入したことで生産コストの低減につながり、経営状況の改善が図られた。 |
| 106 | 農林水産部 | 施設園芸用燃油価格高騰対策支援事業 | 燃油価格の高騰の影響を受ける施設園芸農業者に対し、燃油の購入に要する経費の一部を補助するもの | 20,887 | 20,887 | R6.3 | R6.3 | 県内の施設園芸農業者64団体に対し、令和5年10月～12月の燃油価格上昇分として、各戸の燃油購入量(総数1,443,463ℓ)に応じ支援金を交付し、燃油高騰により経営に打撃を受けている施設園芸農業者の支援を行った。 | 申請があった施設園芸経営面積の合計は約8,250aであり、県全体の加温面積21,540aの40%近くをカバーしている。少なくとも、当該面積において加温による営農継続が図られた。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|----------------------------|---|------------|------------------|-------|-------|---|---|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 107 | 農林水産部 | 飼料価格高騰対策支援事業費（第1・2四半期分） | 新型コロナの影響に伴う飼料の急激な価格高騰の影響を受ける畜産農家に対し、配合飼料及び単味飼料の購入に要する経費等の一部を補助するもの | 783,273 | 783,273 | R5.4 | R5.12 | コロナ禍において、飼料価格の高騰が続く中、畜産経営者の生産コストのかかり増しの影響を緩和するため、飼料価格の上昇分の一部を助成（6,000円/トン）した。 (第1四半期 配合飼料実績：697件、64,807トン) (第1四半期 単味飼料実績：277件、2,220トン) (第2四半期 配合飼料実績：686件、61,429トン) (第2四半期 単味飼料実績：269件、2,110トン) | 畜産経営の減少率（対前年比5%減）が近年の推移と同程度に留まり、畜産経営の安定に寄与した。 |
| 108 | 農林水産部 | 家畜保健衛生所施設設備整備事業費 | 山形県中央家畜保健衛生所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための換気環境改善及びトイレの非接触化を整備するもの | 6,469 | 6,469 | R5.10 | R6.2 | 山形県中央家畜保健衛生所のエアコン及びトイレ設備の改修を行った。 ・エアコン設備改修 1,716千円 ・トイレ設備改修 4,753千円 | エアコン及びトイレ設備の改修により換気環境改善や非接触化が推進され、感染拡大防止に寄与した。 |
| 109 | 農林水産部 | 飼料価格高騰対策支援事業費（第3四半期分） | 新型コロナの影響に伴う飼料の急激な価格高騰の影響を受ける畜産農家に対し、配合飼料及び単味飼料の購入に要する経費等の一部を補助するもの | 414,530 | 414,530 | R5.10 | R6.3 | コロナ禍において、飼料価格の高騰が続く中、畜産経営者の生産コストのかかり増しの影響を緩和するため、飼料価格の上昇分の一部を助成（6,000円/トン）した。 (配合飼料実績：674件、66,837トン) (単味飼料実績：288件、2,258トン) | 畜産経営の減少率（対前年比5%減）が近年の推移と同程度に留まり、畜産経営の安定に寄与した。 |
| 110 | 農林水産部 | 畜産所得向上支援事業費 | 新型コロナの影響に伴う飼料の急激な価格高騰の影響を受ける畜産農家に対し、省エネルギーが可能となる機器等の整備に要する経費の一部を補助するもの | 9,854 | 9,854 | R5.10 | R6.3 | コロナ禍において、飼料価格の高騰が続く中、畜産物の生産過程における経費削減に向けた省エネルギーが可能となる機器等の整備に要した経費の一部を助成した。 ・バルククーラー 1件 2,916千円 ・インバーターファン 4件 6,938千円 | 畜産経営の減少率（対前年比5%減）が近年の推移と同程度に留まり、畜産経営の安定に寄与した。 |
| 111 | 農林水産部 | 元気な水産業応援事業費（燃油価格高騰対策支援） | コロナ禍によって燃油価格が高騰していることから、漁業経営セーフティーネット構築事業による補填額のうち、漁業者負担分を支援するもの | 13,765 | 13,765 | R5.7 | R6.3 | 補助申請があった漁業者全員に対して、漁業経営セーフティーネット構築事業による補填額のうち、漁業者負担分を支援した。 | 新型コロナウイルス感染症の影響に加え、燃油価格高騰の影響を受ける県内事業者に対して給付金を支給し、事業継続に寄与した。（延べ支給件数：347件） |
| 112 | 農林水産部 | 元気な水産業応援事業費（漁業用資材価格高騰対策支援） | コロナ禍における原油価格の高騰により大幅に価格した魚箱及び漁業者が購入した漁業用資材について、その価格上昇分を支援するもの | 32,299 | 32,299 | R5.7 | R6.3 | 補助申請があった漁業者全員に対して、漁業用資材の価格上昇分を支援した。 | 新型コロナウイルス感染症の影響に加え、物価高騰の影響を受ける県内事業者に対して給付金を支給し、事業継続に寄与した。（延べ支給件数：351件） |
| 113 | 農林水産部 | 元気な水産業応援事業費（電力価格高騰支援） | コロナ禍における原油価格の高騰による電気料金の値上げが県漁協の経営に大きな影響を与えていることから、漁業者が水産物を出荷するために欠かすことのできない大型冷蔵庫及び製氷工場の維持にかかる電気料金について支援するもの | 3,735 | 3,735 | R5.10 | R6.3 | 県漁協が設置する大型冷蔵庫について、令和3年度からの電気代値上がり分相当額の1/2を支援した。 | 県漁協の大型冷蔵庫事業の継続を支援し、漁業者が安心して漁業に取り組める環境を整備した。 |
| 114 | 農林水産部 | サケ・マス振興事業費（ソフト支援） | コロナ禍において原油価格・物価高騰等に直面する県内放流用種苗生産団体及び内水面養殖業者に対して生産経費高騰の相当額の1/2を給付するもの | 6,809 | 6,809 | R5.7 | R6.3 | 補助申請があった内放流用種苗生産団体及び内水面養殖業者に対して、飼料代及び電気代の高騰分相当額の1/2を支援した。 | 新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油・原材料価格や物価の高騰の影響を受ける県内事業者に対して給付金を支給し、事業継続に寄与した。（延べ支給件数：34件） |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|--|---|------------|------------------|-------|-------|---|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 115 | 農林水産部 | サケ・マス振興事業費（ハード支援） | コロナ禍において原油価格・物価高騰等乗り越えて持続的な漁業・養殖経営を目指す業者について省エネ対策にかかる費用の1/2を支援するもの | 2,260 | 2,260 | R5.7 | R6.3 | 生産経費削減のための設備投資（省エネ型のポンプの設置等）を実施した業者について補助申請者のすべてを支援した。 | 省エネ型の設備更新を実施した業者7者に対して補助し、事業継続に寄与した。 |
| 116 | 農林水産部 | 県産水産物魚価向上チャレンジ事業費（活イカ出荷体制整備事業） | コロナ禍における物価高騰に伴う経営環境の悪化に対する支援として、魚価向上のために庄内浜ブランド創出協議会が実施するスルメイカのブランド化の一環として行う活イカ出荷及び利用の取組みを支援するもの | 6,608 | 6,608 | R5.7 | R6.3 | 3つの漁港において活魚水槽及び梱包機器を設置し、活魚出荷体制を整備した。 | 3つの漁港において、活魚出荷を開始し、県産水産物の魚価向上に貢献した。 |
| 117 | 農林水産部 | 県産水産物魚価向上チャレンジ事業費（応援店における活イカ利用チャレンジ事業） | コロナ禍における物価高騰に伴う経営環境の悪化に対する支援として、高価格での出荷が見込める活イカの需要を喚起し魚価を向上するため、飲食店が行う活イカ利用の取組みを支援するもの | 543 | 543 | R5.7 | R6.3 | 飲食店が活イカを購入し、調理、加工等に利用する場合の経費について支援した。 | 飲食店11店が当事業に参加し、活イカ及び活魚の認知度向上に貢献した。 |
| 118 | 農林水産部 | 県産水産物魚価向上チャレンジ事業費（県産水産物直売トライアル事業） | コロナ禍における物価高騰に伴う生産経費の増大及び需要の減少に伴う経営環境の悪化に対する支援として、内陸部への直売所出店を契機とした販路拡大及び魚価向上の取組みを支援するもの | 1,442 | 1,442 | R5.10 | R6.3 | 県漁協が県内陸部に出店した直売店について、販売コーディネーター1名と加工・販売支援員2名にかかる人件費等を補助した。 | 販売コーディネーターとしての商品知識や人脈を生かし、商品開発や販売企画を実施した。事業対象期間中の直売店の売上高は9,245千円となり、県産水産物の販売拡大に貢献した。 |
| 119 | 農林水産部 | 水産研究所管理運営費 | 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図るため、山形県水産研究所のエアコン設備1台について換気機能搭載エアコンに更新し、執務室に網戸を設置することで、換気機能を向上させるもの | 825 | 825 | R5.10 | R5.11 | 山形県水産研究所のエアコン設備1台について、換気機能搭載エアコンに更新した。また、執務室に網戸を設置し、執務中の換気体制を整備した。 | 執務室の換気機能を向上することで、飛沫感染による新型コロナウイルス感染症の拡大リスクを低減させた。 |
| 120 | 農林水産部 | 栽培漁業センター管理運営費 | 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図るため、トイレにおいて、非接触型自動水栓を整備し換気窓の修繕を実施するもの | 646 | 646 | R5.10 | R6.2 | トイレの水回りに非接触型自動水栓を導入した。また、故障していた開閉式の窓を修繕し、換気環境を整備した。 | 接触感染及び飛沫感染による新型コロナウイルス感染症の拡大を防止した。 |
| 121 | 農林水産部 | 基幹水利施設等維持管理事業 | コロナ禍による物価高騰の影響により、施設運営上受益者負担が増加している農業水利施設を支援するもの | 181,432 | 181,432 | R5.12 | R6.1 | 電気料金高騰による農業水利施設の運営に係る受益者負担の軽減を図るため、施設を運営する土地改良区等に対して電気料金高騰分の一部を補助した。 ・交付団体：37団体 ・対象施設：226施設 | コロナ禍による物価高騰に対する受益者の負担が軽減され、農業水利施設の安定的な施設運営が行われるとともに農業生産の継続に寄与した。 |
| 122 | 農林水産部 | きのこ栽培燃油価格等高騰対策支援事業 | 燃油価格高騰により厳しい経営状態に直面している生産者を支援するため、光熱費の上昇により掛かり増しした経費に対し支援するもの | 14,785 | 14,785 | R5.7 | R6.3 | きのこ生産者を対象に燃油価格等高騰に伴う生産経費（光熱費）の上昇による掛かり増し経費に対する補助を実施した。（補助交付先：17件） | きのこ生産者を対象に燃油価格等高騰に伴う生産経費（光熱費）の上昇による掛かり増し経費に対する補助することにより、きのこ生産者の経済的な負担軽減に寄与した。 |
| 123 | 農林水産部 | 研修環境等整備事業（試験実習林管理舎トイレ増設） | 山形県森林研究研修センター試験実習林管理舎において、コロナ禍における研修環境を適切に管理するとともに研修の効果を高め、より適した研修環境を受講者へ提供するため、研修施設に洋式トイレを設置するもの | 2,427 | 2,427 | R5.6 | R5.7 | コロナ禍における研修環境を適切に管理するとともに研修の効果を高め、より適した研修環境を受講者へ提供するため、管理舎内の物置場を改修し、洋式トイレブース1室を設け、女性専用とし、男女共用トイレを区分した。 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底しながら、トイレを区分したことにより、約600名の受講者（延べ人数）が快適に研修できる環境整備が図られた。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|------------------------------|---|------------|------------------|-------|-------|---|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 124 | 農林水産部 | 研修環境等整備事業（森林研究研修センター本館トイレ改修） | 山形県森林研究研修センター（本館）において、コロナ禍における執務・研修環境を整備するため、女子トイレを洋式化するもの | 4,730 | 4,730 | R5.11 | R6.2 | コロナ禍における執務・研修環境を整備するため、本館2階女子トイレ2室を洋式化するとともに、床を乾式化した。 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底しながら、女性来庁者（研修・会議参加者）へ快適な環境を提供するとともに、女性職員が不安なく業務遂行できる環境整備が図られた。また、床を乾式化したことにより清掃環境の改善が図られた。 |
| 125 | 農林水産部 | 農林大学校運営費（流通研修施設分） | 山形県立農林大学校流通研修施設の和式トイレを洋式トイレに改修することにより、流水洗浄時のウイルス飛散を防止し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るもの | 1,551 | 1,551 | R5.6 | R5.12 | コロナ禍における教育環境を整備するため、流通研修施設内の和式トイレ2基を洋式トイレ1基に改修した。 | 流通研修施設内の和式トイレを洋式トイレに改修したことにより、流水洗浄時のウイルス飛散が抑えられ、学校内のウイルス感染拡大リスクが軽減した。 |
| 126 | 農林水産部 | 農林大学校運営費（優良種苗高度増殖施設分） | 山形県立農林大学校優良種苗高度増殖施設の和式トイレを洋式トイレに改修することにより、流水洗浄時のウイルス飛散を防止し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るもの | 2,110 | 2,110 | R5.10 | R6.3 | コロナ禍における教育環境を整備するため、優良種苗高度増殖施設内の和式トイレ2基を洋式トイレ2基に改修した。 | 高度育苗増殖施設内の和式トイレを洋式トイレに改修したことにより、流水洗浄時のウイルス飛散が抑えられ、学校内のウイルス感染拡大リスクが軽減した。 |
| 127 | 農林水産部 | 農林大学校運営費（短期研修施設分） | 山形県立農林大学校短期研修施設の和式トイレを洋式トイレに改修することにより、流水洗浄時のウイルス飛散を防止し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るもの | 6,512 | 6,512 | R5.12 | R6.3 | コロナ禍における教育環境を整備するため、短期研修施設内の和式トイレ8基を洋式トイレ7基に改修した。 | 短期研修施設内の和式トイレを洋式トイレに改修したことにより、流水洗浄時のウイルス飛散が抑えられ、学校内のウイルス感染拡大リスクが軽減した。 |
| 128 | 農林水産部 | 農林大学校教務費 | 山形県立農林大学校学生寮学生寮に個室タイプのシャワーブースを設置することにより、罹患者等を隔離し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るもの | 8,580 | 8,580 | R6.2 | R6.3 | コロナ禍における教育環境を整備するため、学生寮3棟に2基ずつ個室タイプのシャワーブースを設置した。 | 学生寮内に個室タイプのシャワーブースを設置したことにより、罹患者等の隔離が可能となり、学校内のウイルス感染拡大リスクが軽減した。 |
| 129 | 農林水産部 | さくらんぼを核とした県産フルーツ情報発信事業費 | さくらんぼの大玉新品種「やまがた紅王」の本格デビューに合わせたフルーツのプロモーションや、フルーツ・ステーションの創出とネットワーク化に向けた民間活力の導入による整備に向けた調査検討等を行うもの | 54,640 | 54,640 | R5.5 | R6.3 | やまがた紅王の認知度向上を図るためのデビュー記念イベントの開催するとともに、フルーツ・ステーションネットワークのプラットフォームの整備した。（会議・意見交換会の開催2回、現地視察の実施2回） | やまがた紅王デビュー記念イベントに、のべ20,000名が来場し、新品種の認知度向上を図ることができた。 |
| 130 | 県土整備部 | ダム管理費 | 新型コロナウイルス感染症対策を図るため、ダム管理所に設置されている蛇口をセンサー付き自動水栓とレバー式に改良するもの | 113 | 113 | R6.1 | R6.1 | 綱木川ダム管理所の蛇口をセンサー付き自動水栓とレバー式に改良することにより新型コロナウイルス感染症対策を図った。 ・センサー付き自動水栓：1基 ・レバー式水栓の設置：3基 | 新型コロナウイルスの感染拡大リスクを軽減するとともに、内外部者問わず利便性の向上が図られた。 |
| 131 | 県土整備部 | 酒田港管理費 | ウィズコロナにおける感染症の発生の予防及びまん延防止に資するため、執務室等の換気環境を改善するための工事を行うもの | 9,625 | 9,625 | R5.11 | R6.3 | 港湾事務所執務室および休憩室の換気環境改善により新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行った。 ・サッシ窓改修：8箇所 ・エアコン設置：2箇所 | 執務室および休憩室の換気環境を改善し、当該事務所での新型コロナウイルスの感染拡大リスクを軽減した。 |
| 132 | 教育局 | 県立特別支援学校管理運営費 | コロナ禍における給食食材費の高騰による子育て世帯の負担軽減を図るため、県立特別支援学校の給食食材購入経費を補助するもの（教職員分は除く） | 2,489 | 2,489 | R5.4 | R6.3 | 県立特別支援学校12校に対し給食食材購入経費の一部を補助した。 | 給食食材費高騰分を保護者負担とすることなく、引き続きこれまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を提供することができた。（給食費を増額した学校数：0校） |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|----------------------------|---|------------|------------------|-------|------|---|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 133 | 教育局 | 県立学校給食実施費 | コロナ禍における給食食材費の高騰による子育て世帯の負担軽減を図るため、県立学校の給食食材購入経費を補助するもの（教職員分は除く） | 1,503 | 1,503 | R5.4 | R6.3 | 県立中学校1校及び県立夜間定時制高校3校に対し給食食材購入経費の一部を補助した。 | 給食食材費高騰分を保護者負担とすることなく、引き続きこれまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を提供することができた。（給食費を増額した学校数：0校） |
| 134 | 教育局 | 県立高等学校各種営繕工事費（No.134） | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、県立高等学校の和式トイレを洋式トイレに改修するもの | 117,479 | 117,479 | R5.8 | R6.3 | 県立高等学校の和式トイレを洋式トイレに改修することにより新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図った。（実績：県立高等学校28校） | トイレ洋式化によって、流水洗浄時のウイルス飛散を防ぐことができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減につながった。 |
| 135 | 教育局 | 県立高等学校各種営繕工事費（No.135） | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、県立高等学校の自動水栓を自動水栓に交換するもの | 6,584 | 6,584 | R5.10 | R6.2 | 県立高等学校の自動水栓を整備することで、自動水栓のレバーやハンドルなどの接触をなくし新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図った。（実績：県立高等学校3校） | 自動水栓を整備することで、自動水栓のレバーやハンドルなどの接触をなくすことができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減につながった。 |
| 136 | 教育局 | 県立高等学校各種営繕工事費（No.136） | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、県立高等学校の空調設備及び排煙窓、換気設備の整備を実施するもの | 125,638 | 125,638 | R5.7 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためのマスク着用と適切な換気機能の徹底を図るため、県立高等学校の空調設備、排煙窓及び換気設備を整備して、新型コロナウイルス感染症の感染機会を削減する環境整備を図った。（実績：県立高等学校26校） | 空調設備、排煙窓及び換気設備の整備によって、マスク着用と適切な換気機能の徹底を図ることができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減につながった。 |
| 137 | 教育局 | 県立高等学校校舎整備等事業費（無線LAN環境構築分） | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、県立高等学校において、新たな無線LAN環境を構築し、新型コロナウイルス感染症の拡大時のオンライン授業等に対応できる環境を整備するもの | 27,016 | 27,016 | R6.1 | R6.3 | 県立高等学校において、新たな無線LAN環境を構築し、新型コロナウイルス感染症の拡大時のオンライン授業等に対応できる環境を整備することにより生徒たちの学びを確保した。（実績：県立高等学校1校） | 新たな無線LAN環境を構築し、新型コロナウイルス感染症の拡大時のオンライン授業等に対応できる環境を整備することにより生徒たちの学びを確保することができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減につながった。 |
| 138 | 教育局 | 県立特別支援学校各種営繕工事費（No.138） | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、県立特別支援学校において、トイレの床を乾式化するもの | 770 | 770 | R5.10 | R6.3 | 県立特別支援学校のトイレの床を乾式化することで衛生設備を改善し、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図った。（実績：県立特別支援学校1校） | トイレの床を乾式化することで衛生設備を改善することができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減につながった。 |
| 139 | 教育局 | 県立特別支援学校各種営繕工事費（No.139） | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、特別支援学校の空調設備及び排煙窓、換気設備の整備を実施するもの | 31,401 | 31,401 | R5.8 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためのマスク着用と適切な換気機能の徹底を図るため、県立特別支援学校の空調設備、排煙窓及び換気設備を整備して、新型コロナウイルス感染症の感染機会を削減する環境整備を図った。（実績：特別支援学校11校） | 空調設備、排煙窓及び換気設備の整備によって、マスク着用と適切な換気機能の徹底を図ることができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減につながった。 |
| 140 | 教育局 | 生涯学習センター施設整備事業費 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、空調和機加湿用機器の更新を行い、館内環境の改善を図るもの | 4,422 | 4,422 | R5.12 | R6.3 | 感染拡大防止に有効な湿度を維持できるよう、経年劣化により作動不良となっている空調和機加湿用機器（超音波加湿器及び加湿用ノズル・エリミネーター）を更新した。 | 計画どおりに館内の空調和機加湿用機器10機の更新工事を実施したことにより、感染拡大防止に有効とされる湿度を維持できるようになり、館内環境が改善した。 |
| 141 | 教育局 | 青少年教育施設整備事業費（No.141） | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、青少年教育施設の和式トイレを洋式トイレに改修するもの | 17,900 | 17,900 | R5.10 | R6.3 | 感染防止対策として、流水洗浄時のウイルス飛散を防ぐため、全ての青少年教育施設の和式トイレの一部を洋式トイレに改修した。（6施設、36基） | 施設の衛生環境の改善に寄与し、新型コロナウイルスの感染を防止することができた。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|-----------|---------------------------|--|------------|------------------|-------|-------|--|--|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 142 | 教育局 | 青少年教育施設整備事業費 (No.142) | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、青少年教育施設の水洗化されていない和式トイレを簡易水洗洋式トイレに改修するもの | 3,520 | 3,520 | R5.11 | R5.12 | 感染防止対策として、ウイルスの飛散を防ぐため、青少年教育施設(神室少年自然の家)の汲み取り式和式トイレを簡易水洗洋式トイレに改修した。(1施設、5基) | 施設の衛生環境の改善に寄与し、新型コロナウイルスの感染を防止することができた。 |
| 143 | 教育局 | 青少年教育施設整備事業費 (No.143) | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、青少年教育施設へ移動式エアコンを設置するもの | 11,638 | 11,638 | R5.11 | R6.3 | 感染防止対策のため、マスクの着用と適切な換気を行い、夏場における熱中症も防げることから、全ての青少年教育施設に移動式エアコンを設置した。(6施設、各2台) | 設置室内の快適な空気環境の確保により、新型コロナウイルスの感染を防止することができた。 |
| 144 | 教育局 | 青少年教育施設整備事業費 (No.144) | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、青少年教育施設の水洗化されていない和式トイレを簡易水洗洋式トイレに改修するもの | 2,640 | 2,640 | R5.6 | R5.7 | 感染防止対策として、ウイルスの飛散を防ぐため、青少年教育施設(神室少年自然の家)の汲み取り式和式トイレを簡易水洗洋式トイレに改修した。(1施設、5基) | 施設の衛生環境の改善に寄与し、新型コロナウイルスの感染を防止することができた。 |
| 148 | 教育局 | 図書資料整備事業費 | 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、在宅環境の充実化を促進するため、県立図書館の蔵書を整備するもの | 21,542 | 21,542 | R5.4 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、在宅環境の充実化を促進するため、県立図書館の蔵書を整備した。 | 県立図書館の蔵書(7,751冊・点)整備により、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、在宅環境の充実を図った。(個人貸出冊数301,100冊) |
| 149 | 教育局 | 県立学校ICT環境整備促進事業費 (No.149) | 県立特別支援学校において、ICT機器の活用のための研修を行い、個々の障がいに応じた授業に資するとともに、新型コロナウイルス感染拡大時のオンライン授業に対応できるICT活用能力の向上を図り、生徒たちの学びを保障するもの | 469 | 469 | R5.5 | R5.8 | 県立特別支援学校において、ICT機器の活用のための研修を行い、個々の障がいに応じた授業に資するとともに、新型コロナウイルス感染拡大時のオンライン授業に対応できるICT活用能力の向上を図るための研修の実施した。 | 特別支援学校にてICT研修を活用、実施した特別支援学校職員数は89名となり、新型コロナウイルス感染拡大時のオンライン授業に対応できるICT活用能力の向上を図った。 |
| 150 | 教育局 | 県立学校ICT環境整備促進事業費 (No.150) | 遠隔授業等のコロナ禍における新しい生活様式下での生徒の学びを保障するため、県立学校へのICT機器を整備するもの | 5,344 | 5,344 | R6.1 | R6.3 | 遠隔授業等のコロナ禍における新しい生活様式下での生徒の学びを保障するため、県立中学校の生徒用端末(109台)を整備した。 | 生徒用端末を109台整備し、コロナ禍における新しい生活様式下での生徒の学びを保障した。 |
| 151 | 教育局 | 県立学校ICT環境整備促進事業費 (No.151) | 新型コロナウイルス感染拡大時のオンライン授業に対応できる環境を整備するため、学習に使用するための新たなインターネット回線を各県立学校に敷設し、その運用保守をするもの | 53,091 | 53,091 | R5.4 | R6.3 | 学習系の新たなインターネット回線において、オンライン授業に対応できる安定した環境を保つための運用保守を行った。 | 県立高校67校の学習系無線ネットワークの運用保守を行うことにより、新型コロナウイルス感染拡大時のオンライン授業に対応できる環境を安定的に提供することで生徒の学びを保障した。 |
| 152 | 教育局 | 国際理解教育推進事業費 | ALT招聘に係る来日旅費負担金においてコロナの影響に伴う防疫措置を徹底するためのかかり増し経費を負担するもの | 1,185 | 1,185 | R5.4 | R6.2 | ALTの招聘に際し、新型コロナウイルス感染症の検査の実施等、防疫措置を徹底し、感染拡大を防止した。 | 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る防疫措置を徹底し、新たにALT9名を招聘した。 |
| 153 | 警察本部 | 警察施設等における衛生確保事業 | 警察施設等における消毒液・ゴム手袋等購入、来庁者トイレ改修等経費を負担するもの | 20,716 | 20,716 | R5.4 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症対策として、警察本部施設、警察署等における消毒液・ゴム手袋等の購入、総合交通安全センターにおける来庁者用トイレの改修等を実施した。 | 購入物品の活用等により、警察本部9施設及び県内14警察署等で新型コロナウイルス感染症予防対策を適切に実施することで、警察施設の衛生環境に寄与し、コロナの感染を防止することができた。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|--------------|---------------------------------|--|------------|------------------|-------|------|--|---|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 154 | 警察本部 | 防犯対策物品購入支援事業 | コロナ禍における物価高騰対策として、迷惑電話防止機能付き固定電話機の購入者に対して購入経費の一部を補助することにより、防犯対策の強化を図ると共に消費下支えを実施するもの | 22,824 | 22,824 | R5.12 | R6.3 | 県民を対象とした迷惑電話防止機能付き固定電話機買い換えキャンペーン（購入者に最大5,000円のギフトカードを交付）を実施した。 | 迷惑電話防止機能付き固定電話機購入者2,961名に対して補助を実施し、県民の防犯対策強化を図りながら、消費下支えを通じた生活者支援に寄与した。 |
| 155 | 総務部 | 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時基金造成事業（重点分） | 農林漁業経営に係る生産費負担が増加している農林事業者の資金繰りを支援する農林事業者に対する低利子融資制度に対応する利子補給の後年度負担分について基金に積立てを行うもの | 2,082 | 2,082 | R5.4 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の影響への対応として、農林漁業者に係る無利子融資制度の利子補給を行うために基金を造成し、必要額の積立を行った。 | コロナ禍の県内農林漁業者の事業継続に寄与した。 |
| 160 | みらい企画 創造部 | 地域交通総合対策事業費（路線バス運行維持支援事業） | 新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格高騰によりさらに厳しい経営状況にある県内路線バス事業者の運行を維持するため支援を行うもの | 26,300 | 26,300 | R6.1 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格高騰によりさらに厳しい経営状況にある県内の路線バス事業者の車両維持や燃料費高騰等に伴う経費 100千円/台×263台=26,300千円 | コロナ禍での利用者減少や原油価格高騰の影響でバス及びタクシー事業者の経営状況が悪化していたが、支援金の交付が事業の継続、安定運行に寄与し、地域公共交通の維持・確保につながった。 |
| 161 | しあわせ子育て応援部 | 【経済対策】児童養護施設等物価高騰対策事業 | 原油高騰・物価高騰に伴う児童養護施設等の光熱費等のかかり増し経費に対する補助するもの | 1,498 | 1,498 | R6.1 | R6.3 | 児童養護施設等11施設へ交付金を支給した。 | 事業実施により児童養護施設等の運営における燃料価格高騰に係る影響の緩和に寄与した。 |
| 162 | 健康福祉部 | 医療機関物価高騰対策事業費（追加分） | 医療機関は診療報酬制度でサービス価格が定められており、物価高騰によるかかり増し経費を価格転嫁できず、経営に大きな影響を受けていることから、施設規模に応じた物価高騰対策支援を行い、医療提供体制の維持・確保を図るもの | 465,604 | 465,604 | R6.1 | R6.3 | 県内各病院・診療所・助産所・施術所に対し、施設規模に応じた支援金を交付した。 | 医療機関等において、光熱費や入院患者に対する食事提供に必要な食材費等が高騰し、経営に影響が生じていたが、公定価格で運営していることから利用者に負担を転嫁することが難しいため、物価高騰に伴う光熱費や食材費等のかかり増し経費に対して支援金を交付することにより、医療提供体制の維持・確保が図られた。 (支援機関数：1,381) |
| 163 | 健康福祉部 | 高齢者施設等物価高騰対策事業費（追加分） | コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けた高齢者施設等に対して、支援金を交付するもの | 199,148 | 199,148 | R6.1 | R6.3 | コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けた高齢者施設等に対して、支援金を交付した。 | 原油価格・物価高騰の影響を受けた高齢者施設等に支援金を交付することにより、安定的なサービス継続に寄与した。 |
| 164 | 健康福祉部 | 障がい者施設等物価高騰対策事業費（追加分） | 新型コロナウイルス感染症等の影響による原油価格・物価高騰等に直面している障がい者施設等に対して、支援金を交付するもの | 91,072 | 91,072 | R5.12 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症等の影響による原油価格・物価高騰等に直面している障がい者施設等に対して、支援金を交付した。 | 原油価格・物価高騰で経営状況の苦しい障がい者施設等に支援を行うことで、施設の安定的なサービス継続が図られた。 |
| 165 | 健康福祉部 | 救護施設物価高騰対策事業費（追加分） | コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けた救護施設に対して、支援金を交付するもの | 1,275 | 1,275 | R5.12 | R6.2 | コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けた救護施設に対して、支援金を交付した。 | 原油価格及び物価高騰の影響を大きく受けた救護施設に対して支援金を交付することで、救護施設の安定した事業の継続を支援した。 |

| 実施計画 番号 | 担当 部局名 | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | | 事業始期 | 事業終期 | 事業の実施状況 | 事業の成果、効果 (可能な限り定量的に記載) |
|------------|--------------|----------------------------|--|------------|------------------|-------|------|--|---|
| | | | | 実績 (千円) | うち交付金充当額 (千円) | | | | |
| 166 | 健康福祉部 | 保険薬局物価高騰対策事業費（追加分） | コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けた保険薬局に対して、支援金を交付するもの | 31,138 | 31,138 | R5.12 | R6.3 | コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けた保険薬局に対して、支援金を交付する。 | 保険薬局において、光熱費や資材費が高騰し、経営に影響が生じていたが、公定価格で運営していることから利用者に負担を転嫁することが難しいため、物価高騰に伴うかかり増し経費に対して支援金を交付することにより、医療提供体制の維持・確保を図った。（支援薬局数：599） |
| 167 | 総務部 | 県立米沢女子短期大学運営費交付金（学寮換気扇設置分） | 集団生活における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、学寮シャワー室共用部に換気扇を設置するもの | 264 | 264 | R5.12 | R6.2 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、換気の徹底を図るため、学寮シャワー室共用部に換気扇（2箇所）を設置した。 | シャワー室共用部に換気扇（2箇所）を設置することにより、入寮生（56名）の感染拡大防止が図られた。 |
| 168 | みらい企画 創造部 | 地域交通総合対策事業費（地域鉄道支援事業） | 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少、原油価格高騰等による運行経費の増大等、厳しい経営状況が続く地域鉄道を維持するため支援を行うもの | 6,660 | 6,660 | R6.3 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少、原油価格高騰等による運行経費の増大等、厳しい経営状況が続く地域鉄道事業者（山形鉄道(株)）に対し、関係市町とともに運行維持に係る経費を支援した。 12,218千円×1.7往復≒20,000千円 上記のうち県負担分：20,000千円×33.3% =6,660千円 | 支援した結果、運行本数（12往復/日）が維持され、地域の移動手手段の維持・確保に寄与した。 |
| 169 | 環境エネルギー部 | 再生可能エネルギー等設備導入促進事業費 | 新型コロナの影響に伴う電力需給逼迫や電気代高騰の影響を受け、蓄電池の設備導入経費に対して補助を行うもの | 39,539 | 39,539 | R6.2 | R6.3 | コロナ禍における在宅勤務の増加による電力使用量の増加対応や、災害時の停電による避難所の3密を避ける観点等から、レジリエンス向上のため家庭等へ蓄電池設備の導入費用の一部補助を実施した。 | R5年度において、家庭及び事業所における再生可能エネルギー等設備導入を促進し、電気代高騰による家庭への負担を軽減するとともにレジリエンス向上に寄与した。（924件） ・蓄電池設備（671件） ・木質バイオマス燃焼機器（231件） ・地中熱利用装置（22件） |
| 170 | 健康福祉部 | 鳥海学園運営費 | 障がい児入所施設において、ゾーニング等新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施するもの | 365 | 365 | R5.4 | R6.3 | 障がい児入所施設の機能を維持し、運営を継続するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施した。 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施により、施設の機能維持や円滑な運営が図られた。 |
| 171 | 健康福祉部 | 県立社会福祉施設整備事業（追加分） | 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、山形県立点字図書館の和式トイレを洋式トイレに改修するもの | 1,235 | 1,235 | R6.1 | R6.3 | 排泄物の飛散を防ぐとともに流水による飛沫を防ぐことで、新型コロナウイルスの感染拡大リスクの軽減を図るため、和式トイレを洋式化した。 | トイレの洋式化により、山形県立点字図書館において新型コロナウイルスの感染拡大リスクの軽減が図られた。 |
| 172 | 健康福祉部 | こども医療療育センター運営費（追加分） | 新型コロナウイルス感染症対策として、こども医療療育センターにおける感染拡大防止に係る医療体制を整備するもの | 2,794 | 2,794 | R5.11 | R6.3 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、こども医療療育センターにおいて衛生物品等を整備した。 | こども医療療育センターにおいて、感染拡大防止に係る衛生物品等の整備を行い、感染防止対策に努めた結果、院内での感染が抑制された。 |
| 173 | 県土整備部 | 地方港湾管理費 | ウィズコロナにおける感染症の発生の予防及びまん延防止に資するため、執務室等の換気環境を改善するための工事を行うもの | 1,026 | 1,026 | R5.8 | R5.9 | 鼠ヶ関マリーナ事務室の換気環境改善により新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行った。 (エアコン設備点検交換：2箇所) | 事務室の換気環境を改善し、当該施設での新型コロナウイルスの感染拡大リスクを軽減した。 |

